

グリーンスローモビリティを活用した 地域交通共創モデルの実証実験報告について

(事業趣旨)

まちびらきから40年のフラワータウンにおいて、主に昼間の移動が多い高齢者を対象に、ファーストワンマイル問題を解消する手段として、グリーンスローモビリティの有効性や外出頻度の変化などについて検証する。

日時 令和4年11月10日(木曜日)～12月23日(金曜日)

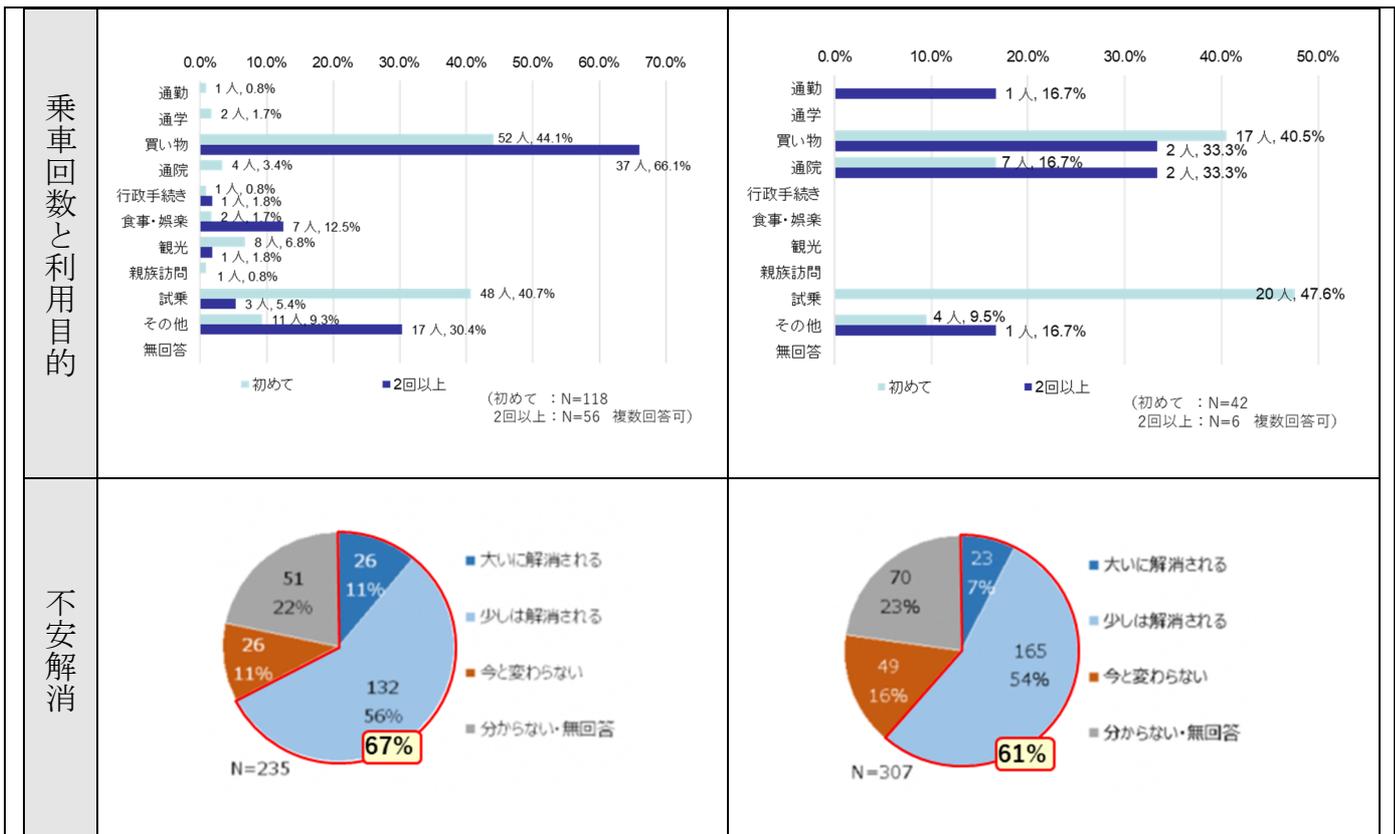
場所 三田市武庫が丘及び狭間が丘

内容 グリーンスローモビリティの活用によるファーストワンマイルの解消

1 グリーンスローモビリティについて

乗車人数等

	武庫が丘	狭間が丘																																																																								
利用	利用登録不要・予約不要	利用登録要(登録24名)・予約要																																																																								
乗車人数	<p>計231人 11月 152人 12月 79人 推定実利用人数 154名</p>	<p>計72人 11月 44人 12月 28人 推定実利用人数 63名</p>																																																																								
年齢	<p>N=177</p> <table border="1"> <tr><th>年齢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>10代以下</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>10代</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>20代</td><td>21</td><td>11.9%</td></tr> <tr><td>30代</td><td>4</td><td>2.3%</td></tr> <tr><td>40代</td><td>9</td><td>5.1%</td></tr> <tr><td>50代</td><td>11</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>11</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>70代</td><td>51</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>80代</td><td>28</td><td>15.8%</td></tr> <tr><td>80代以上</td><td>29</td><td>16.4%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> </table>	年齢	人数	割合	10代以下	0	0.0%	10代	0	0.0%	20代	21	11.9%	30代	4	2.3%	40代	9	5.1%	50代	11	6.2%	60代	11	6.2%	70代	51	28.8%	80代	28	15.8%	80代以上	29	16.4%	無回答	0	0.0%	<p>N=50</p> <table border="1"> <tr><th>年齢</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>10代以下</td><td>1</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>10代</td><td>2</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>20代</td><td>1</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>30代</td><td>6</td><td>12.0%</td></tr> <tr><td>40代</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>50代</td><td>1</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>4</td><td>8.0%</td></tr> <tr><td>70代</td><td>8</td><td>16.0%</td></tr> <tr><td>80代</td><td>20</td><td>40.0%</td></tr> <tr><td>80代以上</td><td>7</td><td>14.0%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> </table>	年齢	人数	割合	10代以下	1	2.0%	10代	2	4.0%	20代	1	2.0%	30代	6	12.0%	40代	0	0.0%	50代	1	2.0%	60代	4	8.0%	70代	8	16.0%	80代	20	40.0%	80代以上	7	14.0%	無回答	0	0.0%
年齢	人数	割合																																																																								
10代以下	0	0.0%																																																																								
10代	0	0.0%																																																																								
20代	21	11.9%																																																																								
30代	4	2.3%																																																																								
40代	9	5.1%																																																																								
50代	11	6.2%																																																																								
60代	11	6.2%																																																																								
70代	51	28.8%																																																																								
80代	28	15.8%																																																																								
80代以上	29	16.4%																																																																								
無回答	0	0.0%																																																																								
年齢	人数	割合																																																																								
10代以下	1	2.0%																																																																								
10代	2	4.0%																																																																								
20代	1	2.0%																																																																								
30代	6	12.0%																																																																								
40代	0	0.0%																																																																								
50代	1	2.0%																																																																								
60代	4	8.0%																																																																								
70代	8	16.0%																																																																								
80代	20	40.0%																																																																								
80代以上	7	14.0%																																																																								
無回答	0	0.0%																																																																								

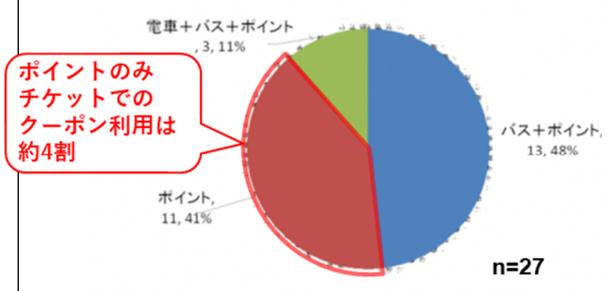


・外出機会の特性としては、9割以上の方で買い物目的が外出あり、現在、徒歩や自転車・バイクで買い物をする方はフラワータウンを目的地としている方が半数以上を占める。
 ・将来的な移動に不安を感じている方も、GSM※によって移動に対する不安を解消されるという評価が7割程度見られた。
 ※GSM…グリーンスローモビリティの略

2 外出を促進させるモビリティ以外のサービス

(1) アプリ[PassRu]を活用した商業施設の情報配信、ポイント等の特典付与

●種類別クーポン利用件数



●クーポン利用店舗 (※クーポン利用可能施設は13店舗)



(2) Bluetooth を使った運動量及び位置情報の利活用

検証項目	実証期間中の GSM 利用への転換による、フラワータウンセンターの商業施設内での回遊行動（歩数）の増加												
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワータウンセンター地区での歩数 ・イオン、NISHIYAMA、神鉄フラワータウン駅設置の受信機の歩数データより算定（3箇所の受信データの、歩数の最大値と最小値の差分） <p>※モニター毎に受信データ無しの日を除いて集計</p>												
調査結果	<p>実証期間中の外出頻度増加：27名（約35%）</p> <table border="1"> <caption>歩数変化の人数</caption> <thead> <tr> <th>歩数変化</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>減少（～600歩）</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>やや減少（-600歩～-200歩）</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>変化なし（-200歩～200歩）</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>やや増加（200歩～600歩）</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>増加（600歩～）</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>・フラワータウン内の歩数は増加した方が多い。</p>	歩数変化	人数	減少（～600歩）	10	やや減少（-600歩～-200歩）	14	変化なし（-200歩～200歩）	23	やや増加（200歩～600歩）	13	増加（600歩～）	14
歩数変化	人数												
減少（～600歩）	10												
やや減少（-600歩～-200歩）	14												
変化なし（-200歩～200歩）	23												
やや増加（200歩～600歩）	13												
増加（600歩～）	14												
医療費抑制効果	<ul style="list-style-type: none"> ○歩数増分：平均 51.4歩（武庫が丘・狭間が丘平均） ○医療費抑制効果の算定式 <p>（運動量が増加した住民数）51.4歩 × 0.061歩/円 × 365日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">運動量が増加した住民</th> <th rowspan="2">医療費抑制効果</th> </tr> <tr> <th>ケース</th> <th>人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今回のプログラム参加者（歩数データ取得者）</td> <td>78</td> <td>89,265円</td> </tr> <tr> <td>武庫が丘・狭間が丘にお住いの方全員</td> <td>11,263</td> <td>12,889,614円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域全体で年間約1289万円の効果</p>	運動量が増加した住民		医療費抑制効果	ケース	人口	今回のプログラム参加者（歩数データ取得者）	78	89,265円	武庫が丘・狭間が丘にお住いの方全員	11,263	12,889,614円	
運動量が増加した住民		医療費抑制効果											
ケース	人口												
今回のプログラム参加者（歩数データ取得者）	78	89,265円											
武庫が丘・狭間が丘にお住いの方全員	11,263	12,889,614円											

(3) 健康増進イベントの開催

実施日	実施状況等
令和4年11月16日（水） 10時30分～11時30分 フラワータウン市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・12名が参加（うち11名よりアンケート回収） ・年代は70代が5名、80代2名、60代1名、無回答3名
令和4年12月12日（月） 14時30分～15時30分 フラワータウン市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・9名が参加（すべて女性） ・年代は70代が6名、80代2名、60代1名

(4) 運行経費

【月額費用】

単位：円

大項目	小項目	ドライバー 地域ボランティア
人件費	ドライバー費用	0
	オペレータ費用	0
車両費	リース（1台）	230,000
電気代	ひと月当たりの電気代	1,584
保険代	自動車保険	27,500
計		259,084

【実装時に想定される概算費用】

大項目	小項目	金額	単位
人件費	ドライバー費用	80,000	円/月
	オペレータ費用	10,000	円/月
車両費	購入の場合(4人乗り)	2,650,000	円
点検費用	車検費用	70,000	円/回
	定期点検費用	30,000	円/回

<実装例>

①支出

車両購入費 265 万円の他、地域ドライバー運行の場合、年額約 160 万円の経費を想定。

②収入

運賃収入、広告収入、協賛金等で、年額約 103 万円を想定。

※運行経費の概ね 64%の収支率が確保できる見込み

3 総括

- ・外出機会の減少傾向がみられる 12 月に利用者が増加しており、GSM 運行に伴う利用促進の取組が外出する「きっかけ」となった。
- ・繰り返し利用した方は 28%で、その目的は買い物が多かった。
- ・乗車定員（4 人乗り）のため、乗車をお断りするケースの発生や買い物荷物等を置くスペースが限られたため、車両タイプや設備等の改善が必要。
- ・アプリによるクーポン発行について、利用者数が伸び悩んだ最大の要因としては、ターゲット層（主に高齢者）におけるデジタルデバイド問題があったと考えられ、商業施設連携による効果を示すことは難しかった。
- ・一方で、商業施設からは、住民に直接広告を配信できる仕組みとして評価いただいたことから、デジタル・アナログにとらわれずに発信できる仕組みにより、連携強化を図る取組を継続していきたい。
- ・「歩く」ことによる運動量の増加が医療費削減に効果があることが可視化できたため、利用を促進するにあたり公共交通利用に伴う運動量増加がもたらすメリットを示すとともに、今後の GSM 運行による地域住民や行政サービスへの波及効果を含め、将来的な収支モデルの検討を進める。